

アセスメントポリシー

4年間を通じた主体的な学修およびキャリアアプローチにより、社会に貢献できる管理栄養士・食品技術者として卒業時に求められる専門的知識と技能・技術(卒業要件)に加え、強い向上心と真摯な行動力・協働力等の社会人基礎力(ジェネリックスキル)を兼ね備えていることを基準とします。「学生が何を身につけたか」を重視して多面的に学修成果を評価することを目的としており、平成29年度から適用しています。

学生に求められる能力をどのようなプログラムで育成するか(学位授与の方針)を明示し、その方針に従ったプログラム全体の中で個々の授業科目は能力育成のどの部分を担うかを担当教員が認識し、他の授業科目と連携し関連し合いながら組織的に教育を展開することが重要であり、アセスメントポリシーに基づき検証した結果をプログラムの改善・進化につなげるPDCAサイクルを定着させることを目指しています。

学士力の評価方法

～学生自身が自らの学修成果を把握するために～

